

K 選択肢における弁別力と正反応確率

プログラム PKAlt.ece は、K 選択肢信号検出実験における弁別力と正反応確率の関係を求めるものである。プログラムを起動すると図 1 のフォームが現れる。

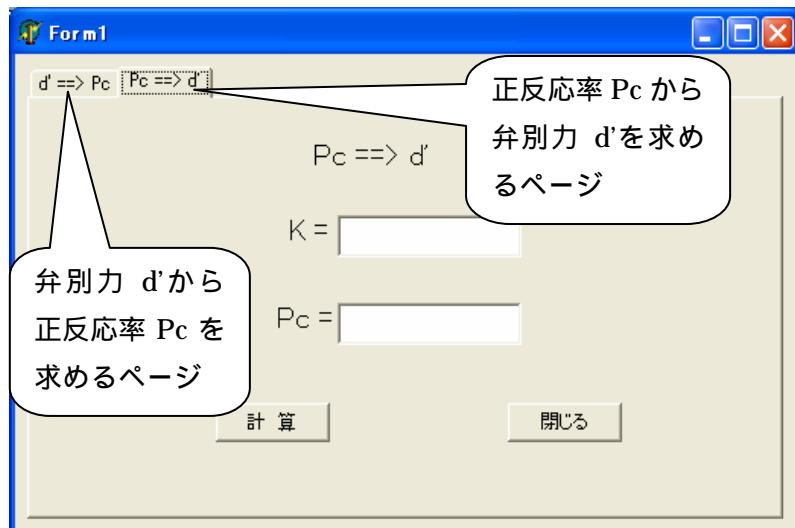


図 1 起動時のフォーム

正反応確率 P_c に対応する弁別力 d' を求めるページと、弁別力 d' に対応する正反応確率 P_c を求めるページが用意されている。図 1 では正反応確率 P_c に対応する弁別力 d' を求めるページが表示されている。このページにおいて選択肢数 K と正反応率 P_c を設定した(図 2)後、

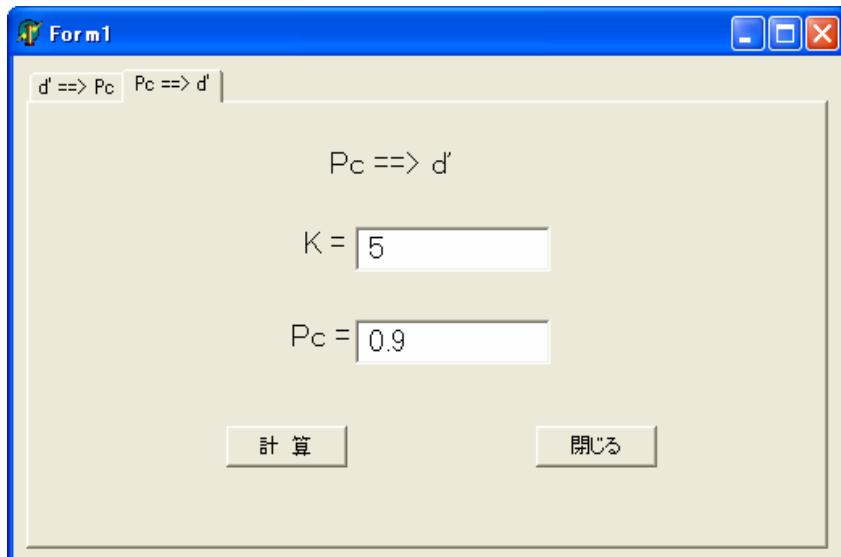


図 2 選択肢数と正反応確率の設定

「計算」ボタンをクリックすると、対応する弁別力 d' が求められて図 3 のように表示され

る。

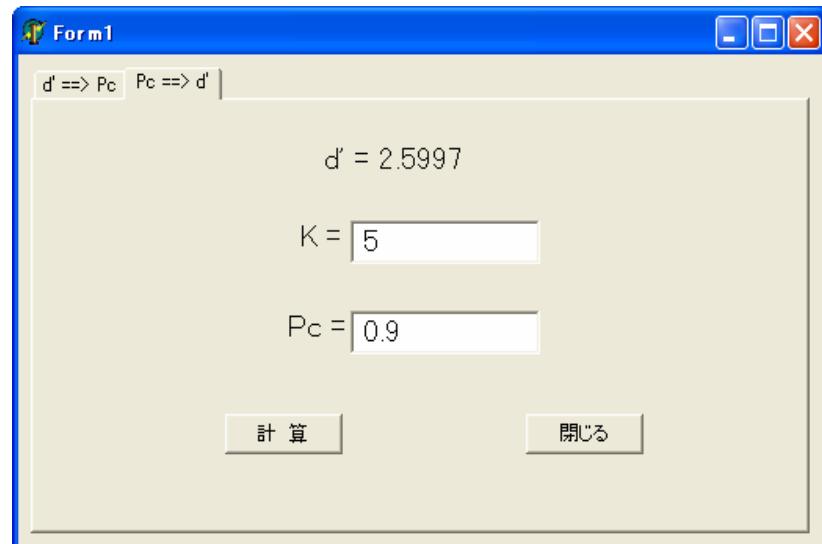


図3 弁別力 d' の表示

弁別力 d' に対応する正反応確率 P_c を求めるときは、ページタブ「 $d' ==> P_c$ 」をクリックして図4のページを表示する。

図4のページにおいて選択肢数 K と弁別力 d' の設定後（図5）「計算」ボタンをクリック



図4 弁別力 d' に対応する正反応確率 P_c の計算

すると、対応する正反応確率 P_c が求められ、図6のように表示される。

Form1

d' => P_C | P_C => d'

d' => P_C

K =

d' =

図 5 選択肢数 K と弁別力 d' の設定

Form1

d' => P_C | P_C => d'

P_C = 0.6337

K =

d' =

図 6 計算結果の表示